



## 祝「開館25周年」

9月25日、阿佐谷地域区民センターの「開館25周年を祝う会」が催されました。本来のバースデーは6月でしたが、いろいろ準備もあってこの日となりました。

ピアニスト吉田寛子さんの演奏で、ショパンなど数曲を館に“プレゼント”。いつもご協力いただいている方々とともに、ささやかなお祝い行事としました。

阿佐谷地域集会施設運営協議会・小林会長の当日のご挨拶（概略）を掲載します。

### 「新しい活動の展開」を目指して

「阿佐谷地域区民センター」は、開館して今年で25周年を迎えました。地域住民の交流の場を目的として開設された区民センターが、今日こうして地域の方々の間ですっかり定着し、大変な盛況ぶりを見せておりますことは、喜ばしい限りであります。ご支援・ご協力を頂いた関係諸団体および地域の皆様に改めて心から感謝申し上げます。この節目に、私ども協議会としては、従来の活動状況を見直し、じっくり検討してみる必要があるかと思えます。一つには、地域の方々のご要望を的確に把握し、事業内容の更なる充実をはかること。もう一つは、他の団体と連携するなどして新しい活動を展開し、地域活性化のお役に立つこととあります。容易ではありませんが、目標に向かって委員一同たゆまぬ努力を続ける所存であります。皆様には今後とも当協議会の活動を温かく見守っていただき、従来に増してのご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。（小林 哲）



優しい調べが館の空気をリフレッシュ！



### コミュニティすくーる 9月5日（土）午前9時半～12時

#### 「角川庭園と荻窪の自然を語る」 講師・松田輝雄氏

朝、大田黒公園に30名の参加者が集い「樹木の大切さ」「筍の跡のもてなしの心」、そして荻窪の町の歴史など、講師のお話をうかがいながら、今年5月に開園した角川庭園へ。園内の「すぎなみ詩歌館」で、井伏鱒二の「荻窪風土記」の一部をみんなで朗読しました。

「関東大震災前は荻窪で、品川の岸壁を出る汽船の汽笛が聞こえた」「荻窪の主要産物は漬物大根と野菜で、毎朝荷車で淀橋の東洋市場に運ん

でいた」など味わい深い内容。「声を発する。他人の発する声に耳を傾ける。これがコミュニケーションの始まり」「あなた、お名前は？ 田中さん。そちらは？ 鈴木さん。ね！ほかにも山や川や谷や、日本人の名前は自然からもらったものが基本になっているんですよ」「好きな本を、声をだして読む。自分の笑い顔を毎日鏡で見る。いつでも笑顔で人に接していると皆が楽しくなる。そして、自然に触れて楽しむ。人生60歳、70歳、80歳は楽しむ時代ですよ！」

ユーモアあふれる“授業”に何度も笑い声があがり、会場は楽しく盛り上がりました。



角川庭園「詩歌山房」  
平成25年5月の開園

### こうえん会 10月10日（土）午後2～4時 内藤和美 語りの世界 —横笛とともに—



♪ 牡丹に唐獅子竹に虎 虎を踏まえて和藤内  
内藤様はさがり藤 富士見西行うしろ向き……

開演5分前に会場はほぼ満席。“戦争未亡人”の鬼が“侵略者”桃太郎を告発する「瀬戸内の鬼」の軽妙な語りで、早くも観衆は内藤さんの手の内へ。「隅田川」は行方知れずのわが子を探して、はるばる都から旅してきた女が、すでに病死していたその子の亡霊に会うという悲話ですが、迫真の語りに満場は水を打ったように。

松尾慧さんの横笛の演奏と「能管は“打楽器”」などさまざまな笛の話には異口同音で「ほおー！」と感心の声が。結びは全員で「江戸のしりとりに唄」を、横笛の伴奏付きで“合唱”しました。

・アンケートから ◇情感あふれる語りの世界を初めて体験しました。特に隅田川は引き込まれ、状況を想像しながら涙があふれてきました。◇内藤さんは「すばらしい」の一言。「隅田川」では涙がポロポロ出てしまいました。松尾慧さんの笛のお話がおもしろかったです。

## ★★クリスマスコンサートのご案内★★



今年も、クリスマスシーズンに合わせた演奏会をお楽しみください。

12月5日(土) 午後2～4時  
阿佐谷地域区民センター3階  
第4・5集会室

【出演】竹内 永和 (ギター)  
裕 美穂子 (ヴァイオリン)

弦同士の温かな音色、さわやかな響きはきっと皆様の琴線に触れることと思います。

【曲目】美しきロスマリン／愛の喜び／トルコ行進曲  
／ノクターン／ホワイトクリスマスほかを予定。

【募集定員】90名(抽選) 入場無料

【申込方法】p.4参照(お子様は、小学生以上で、最後まで着席して鑑賞できれば、保護者と同伴に限り申し込み可) ※11月23日必着

## 土ようえほんとおはなしの会

### ★★★★クリスマススペシャル★★★★

ちょっと早めのクリスマス!

いつものグループが全員集合です。

サンタさんからのプレゼントもお楽しみに!

出演: ORCAわーるど/こうばこの会

／ご本・お話だいすき会/三つのりんご

12月12日(土) 午後2時から  
阿佐谷地域区民センター3階第4・5集会室  
参加費無料

申し込み: 直接お越しください。  
(先着90名まで)



## <春まつり展示・作品募集>

対象: 主に当センターをご利用の皆様および地域にお住まいの方

募集作品: 写真、書道、絵画、手芸、彫刻、生け花、短歌、陶芸  
など展示可能なもの

開催日: 平成22年2月13日(土) 14日(日)

説明会: 平成21年12月9日(水)

申し込み: 平成21年11月30日必着

往復はがきにグループ名と作品の内容を明記のうえ

「阿佐谷地域集会施設運営協議会事務局」へ



まちの

あつこんなどこに!

自然

## 「野鳥カフェ」

まちのバードウォッチングは冬が“シーズン”、花や木の実・草の実が少なくなり、虫や小動物が地表から姿を消すと、鳥たちは人家近くに寄ってきます。ベランダの隅にパンくずのトレイを置いたり、庭木の小枝にみかんなどをさしておくと、はじめは警戒しながら、徐々に大胆に、やがて、すぐそばで見ていると餌を啄ばむようになります。

ついには早朝からやってきて、ピーピー、チュンチュン、キーキーとけたたましく催促するほど。「野鳥カフェ」は大にぎわい。

以前はスズメが主客でしたが、近年はメジロやシジュウカラ、ヒヨドリが幅を利かせているようです。ツグミ、カワラヒワ、たまにコガラやジョウビタキも訪れます。\*1 羽色は地味でもそれなりにきれいで、しぐさも愛らしく、見ていて飽きません。(人気漫画「とりパン」\*2などの影響もあってか、サービスし過ぎで騒音・糞害などご近所の齟齬を買うケースもあるので要注意。)

もともと山や森に棲んでいた鳥たちが、街中で営巣しヒナを育てるようになったのは1960年代の終わり頃からといえます。理由は、残飯など餌が多い、ヒートアイランドで暖かい、天敵が少ない、などいろいろ考えられますが、開発が進み、生息環境を荒らされてしまったため、「野鳥」として人間のフトコロに飛び込んできた—のかもしれない。あたたかく見守ってやりたいものです。\*3

\*1 [http://www.suginamigaku.org/content\\_disp.php?c=46ff0240731a0](http://www.suginamigaku.org/content_disp.php?c=46ff0240731a0) (杉並区の野鳥)

\*2 <http://morningmanga.com/lineup/14> (漫画の試し読みもできます)

\*3 <http://kenken.kazelog.jp/yachou/2009/06/post-6b9a.html> (都市鳥研究家・唐沢孝一さんの談話)



みかんをつつくヒヨドリ(南阿佐ヶ谷駅付近)

ウェブ版「あさがや」のアドレスは <http://www17.ocn.ne.jp/~asagaya/index.html> です。

## ＜阿佐谷地域区民センター＞ 11月からの 講座・催し 案内

教室・講座名	定員	開催日時/場所	費用	内容	講師	締切日
鲁迅と日本	40名	11月21日午前10～12時 12月19日・1月23日午後2～4時 各土曜日(計3回) / 3階 第4・5集会室	資料代 500円	中国近代精神の父・鲁迅の日本における足跡を語る。	阿部兼也 (アベケンヤ)	10月31日 (土)
たのしいクラシック音楽鑑賞	25名	22年1月13・27日 2月3・10日 各水曜日 午後2～4時(計4回) / 地階 音楽室	資料代 100円	クラシックの名曲とその歴史を通し「クラシック音楽」をより身近に親しんでいただきます。	小笠原吉秀 (オガサワラヨシヒデ)	12月19日 (土)
からだにやさしいヨガ	40名	22年1月14・21・28日 2月4日 各木曜日 午後2～4時(計4回) / 3階 第4・5集会室	教材費 (保険料含) 200円	元気がでる!腰痛・肩こり・膝をらくにします。	菊池ゆり子 (キクチユリコ)	12月19日 (土)
日本のお城の魅力	40名	22年1月22日・29日 各金曜日 午後1時30分～3時30分(計2回) / 3階 第4・5集会室	教材費 100円	イラストに見るお城の魅力。	香川元太郎 (カガワゲンタロウ)	12月30日 (水)
古い布で作る「布ぞうり」教室	25名	22年2月2日 火曜日 午前10時～午後3時 (正午～午後1時、休憩) / 4階 第2和室	教材費 (保険料含) 700円	健康に良く履き心地バツグンの「布ぞうり」を作りましょう。	大垣正子 (オオガキマサコ)	1月23日 (土)
土よう えほんとおはなしの会	20名	11月21日 土曜日 2時～ / 図書室	無料	木々も色づいてきましたね。落ち葉を踏みしめてお散歩もいいけれど、たまにはゆっくりお話を聞いてみませんか。	ご本お話 だいすき会	当日直接
	20名	12月19日 土曜日 2～3時 / 図書室	無料		三つの りんご	当日直接

※毎月11日発行の「広報すぎなみ」にも掲載しています。

**【申込方法】** ◆往復はがき(1枚に1人1件)に教室・講座名、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を(返信用に自分の宛名を)記入し、〒166-0004 杉並区阿佐谷南1-47-17 阿佐谷地域集会施設運営協議会へ。  
◆締切日必着(「当日直接」を除く)で。※抽選結果を返信します。

### 図書室から —新しい本が入りました!— (最新情報はホームページで)

#### 【児童書】



- ・へっこきよめさん おざわ としお/からさわ かおり
- ・ネコのタクシーアフリカへ行く 南部 和也
- ・わたしのしゅうぜん横町 西川 紀子
- ・あきにてであったおともだち 亀岡 亜希子
- ・マジック+ツリーハウス 25 巨大ダコと海の神秘
- ・しっぱいにかんぱい! 宮川 ひろ
- メアリー・ポープ・オズボーン
- ・名探偵コナン 65 青山 剛昌
- ・親子で学ぶ偉人伝(巻三) 荒川 和彦/荒川 春代
- ・あたしんち 15 けら えいこ
- ・てとてとてとて 浜田 桂子

#### 【一般書】

- ・或る女(文庫) 有島 武郎
- ・日本でいちばん大切にしたい会社 坂本 光司
- ・春の城(文庫) 阿川 弘之
- ・3ステップで咲かせる花づくり 金田 洋一郎/河内 孝子
- ・居眠り磐音江戸双紙 30 侘助の白(文庫) 佐伯 泰英
- ・新型インフルエンザ 完全予防ハンドブック(文庫) 岡田 晴恵
- ・骸骨ビル(上・下) 宮本 輝
- ・宵山万華鏡 森見 登美彦
- ・イチバン親切な包丁の教科書 野崎 洋光
- ・ゲゲゲの女房 武良 布枝
- ・朗読のススメ(文庫) 永井 一郎
- ・思考の整理学(文庫) 外山 滋比古
- ・異常気象売ります(上・下) シドニィ・シェルダン
- ・江戸城を歩く 黒田 涼
- ・モンテ・クリスト伯(一)(文庫) アレクサンドル・デュマ
- ・東京湧水せせらぎ散歩 高村 弘毅
- ・ブラック・スワン(上・下) ナシーム・ニコラス・タレブ
- ・差別と日本人 野中 広務/辛 淑玉
- ・日本最初の盲導犬 葉上 太郎
- 【地球の歩き方】イタリア ダイアモンド・ビッグ社

休館日 阿佐谷地域区民センター: 11月10日(火)・18日(水)・24日(火) / 12月8日(火)・16日(水)・22日(火)  
 梅里区民集会所: 11月3日(火)・17日(火) / 12月1日(火)・15日(火)  
 ※12月28日(月)～平成22年1月4日(月)は両館とも休館します。

歩きながら、元氣と文化が  
生まれる街。